

科目名		木造知識演習			
担当教員		目黒 敬也		実務授業の有無	有
対象学科		建築大工科	対象学年	1	開講時期
必修・選択		必修	授業形式	演習	時間数
授業概要、目的、授業の進め方		建築大工の検定取得の対策として筆記試験対策をはじめ、大工技術の知識、課題を学び合格基準に準ずるスキルを習得する 1. 説明→演習→添削と解説を繰り返し行い習得レベル差ごとの指導も行う。 2. 模擬材料の加工の基本を中心に実習し評価・解説する。 3. 条件に則した課題の作り方の手順を理解する。 4. 検定対策として、時間内に作成できるよう、繰り返し修練する			
学習目標 (到達目標)		大工技能検定3級の課題を理解し、繰り返し練習することで体に覚えさせ、合格を目指す。			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		配布資料			
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	規矩術について ①大工技術の基本である規矩術を学ぶ。 ②建築物の屋根の勾配をどのようにして墨付けから加工手法			方法：プリント等の教材を使って説明 ①～②の項目を理解し適正に作成できる。 準備学習：プリントに示されている練習課題の予習と練習	
2	建築大工技能検定についての説明			方法：建築大工技能検定3級がどのような試験内容なのか、どんなことをすれば受かるのかを理解する。	
3	技能検定3級学科問題			方法：3級学科試験の過去問題を繰り返し解答→解説	
4	3級学科模擬試験			方法：3級学科試験の過去問題を繰り返し解答→解説	
5	3級模擬課題の墨付け練習 ①木材を使って墨付け			方法：プリント等の教材を使って説明 ①の項目を理解し適正に作成できる。 準備学習：プリントに示されている練習課題の予習と練習	
6	3級模擬課題の加工、組立 ①模擬材料の材料で墨出しをした材料を加工から組立			方法：プリント等の教材を使って説明 ①の項目を理解し適正に作成できる。 準備学習：プリントに示されている練習課題の予習と練習	
7	3級技能士本番用木材での墨付け・加工・組立 ①本番と同じサイズの木材で一連を通して練習。 ②標準時間内ですべて組立られるよう繰り返し行う。			方法：プリント等の教材を使って説明 ①～②の項目を理解し適正に作成できる。 準備学習：プリントに示されている練習課題の予習と練習	
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
課題	取組姿勢			大工技能検定3級に向けた練習をしていく。実技は繰り返し練習することで体に覚えさせ、学科は過去問題を理解するまで解き、全員が合格できるようにする。	
70 %	30 %	%	%		
成績評価基準は					
A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		建築大工として約5年実務に携わる			